

橿研 通 Vol.3 信

あなたと遺跡の新しいつながり方をみつける情報紙

第 3 号 目 次

- 奈良の世界遺産と考古学 (3) 大峯奥駈道 みせん たいに 弥山~太古の辻~前鬼 せんき 1
- 奈良考古情報 新発見 飛鳥時代の巨大古墳 一小山田古墳一 5
- 国際会議『シリア世界遺産の次世代への継承を目指してー
パルミラ 奈良からのメッセージ』のご案内 9
- 橿研の所員と一緒に遺跡をめぐり、考古学を楽しみませんか 10
- ミステリー小説からみた考古学の世界 (2) 池澤夏樹著『キトラ・ボックス』を読む 11
絹畠 歩・持田 大輔
- 考古学研究交流「探訪 アジアの注目遺跡」 13
中国 周原遺跡 齊藤 希
ベトナム チャーキユウ遺跡 鈴木 朋美
- 催し案内

表紙写真：世界遺産 大峯奥駈道 椽の鼻付近の断崖と北の八経ヶ岳

読者の皆様へ：本紙では地図QRコードを掲載しています。個人の責任で、スマートフォン等の地図アプリケーションをご利用ください。



1. 山上ヶ岳と八経ヶ岳以南の大峯奥駈道：(南の釈迦ヶ岳より)

大峯奥駈道 (3) 弥山～太古の辻～前鬼



2. 天然記念物 オオヤマレンゲ



撮影 森下恵介氏

弥山以南の奥駈道

弥山^{みせん}(1895m)以南の奥駈道は、近畿で最も高い山稜に沿って進みます(写真1)。約20分で至る八経ヶ岳^{はつきようがたけ}(仏経嶽・1915m)は、近畿最高峰。周囲は、天然記念物の仏経嶽原始林・オオヤマレンゲ自生地です。オオヤマレンゲは天女花ともいわれ、白い花が7月上旬頃に開花します(写真2)。

3. 五鈴嶺と仙宿跡 (南から)



4. 椽の鼻西斜面の岩頭とヤマツツジ

沿って禪師の森を南へ進むと、はるか下まで崩落した斜面の頂部にです。眼前に五鉢嶺（写真3）の岩頭をみつ、崩落部を上迂回し、五鉢嶺の岩の間をぬけて下ると、仙宿跡の平地です。再び稜線の西に沿って南下し、舟の多和を過ぎピークを東に巻き、稜線に戻ると楊子

宿跡です。南に避難小屋があります。避難小屋から道は登りとなり、仏生嶽（1805m）の稜線の西に取りつきます。仏生の横断とよばれ、苔むした岩溜りの上を飛び石のようにして通り過ぎていきます。緩やかな尾根道にて南に進むと、東わきに鳥の水とい

う水場があります。孔雀岳（1779m）の西を巻いて進み、孔雀の覗という絶壁の上をぬけます。

釈迦ヶ岳から深仙宿

笹に被われた尾根道が終ると、椽の鼻とよばれる痩せ尾根です（写真4）。岩頭を巻いて鎖場を下り、釈迦ヶ岳の北稜裾に取りつく道です。最初に表れるのが、両部分けといわれる巨岩です（写真5）。頂部に亀裂があり、この岩より北が金剛界、南が胎蔵界とされています。その外周を巡って鎖場を降り、さらに弥勒岩の東裾まで下って東に迂回します。そこから杖捨てとよばれる



急斜面を登ると、釈迦ヶ岳（1800m）の北稜です（写真6）。垂直に近い鎖場を上がり、馬の背とよばれる岩稜を横渡りすると、斜面に這うように幹をのぼす樹林へ入ります。道は急傾斜の上に踏圧で深くえぐられており、ロープや木の根につかまりながら山頂を目指します。

釈迦ヶ岳山頂には、強力（ごうりき）の岡田正行が担ぎ上げたという釈迦如来像が立っています（写真7）。山頂にはかつて仏堂があり、部材の飾金具等が散布しています。

西尾根へ下り、十津川村旭の林道への分岐点から南へ笹の中を下ると、



5. 両部分けと蔵王権現像



7. 釈迦ヶ岳の釈迦如来像



6. 釈迦ヶ岳北稜

深仙宿（約1500m）です（写真8）。灌頂堂がいまも残り、周囲にはいくつもの建物跡の平場があります。平場の東北端に香精水があり、岩間から水がしたたり落ちています。

太古の辻から前鬼へ

深仙宿の南のピークにつづいて、大日岳（1568m）があります（写真10）。岩場の鎖場修行で有名でしたが、岩が緩み、近年は中止されているようです。岩場を渡りながら下っていくと、太古の辻です（写真11）。これより以南が南大峯奥駈道です。明治以後に廃れてしまいましたが、玉岡憲明氏らの新宮山彦グループの努力で、復興しました。

前鬼には、太古の辻から東へ、深い谷を下ります。登山道として木階段が整備されていましたが、紀伊半島大水害で部分的に流出し、沢への出入りは古来の姿に戻っています。下りの途中の両童子岩では、「8」字に岩を巡る修行がおこなわれます（写真12）。さらに下って、椈の巨樹の中をぬけ、白い岩の涸れ沢を過ぎると、前鬼の集落跡に入ります（写真13）。奥駈道は石畳の道へと変わり、周囲には宿坊の跡を示す石垣が多数残ります。かつて前鬼には、五鬼継・五鬼熊・五鬼上・五鬼助・五鬼童の5家がありましたが、



撮影 橋本裕行氏

9. 大日岳北のブロッケン現象



8. 深仙宿 灌頂堂



12. 両童子岩



10. 大日岳の行場

撮影 橋本裕行氏



13. 前鬼の石畳と宿坊跡



11. 太古の辻



14. 前鬼 行者堂

現在は五鬼助家61代当主の五鬼助義之氏
 が守る小仲坊おなかぼうが残るのみです。5月中旬
 には、モミジの赤い若葉に映える行者堂
 をみることができます（写真14）。
 （次号は、太古の辻たまき玉置神社）

＊訂正とお詫び

第1号5頁上段写真

（誤）大峰山寺本堂↓（正）金峯山寺本堂

第2号6頁上段

（誤）上北山村前鬼の小仲坊

↓（正）下北山村前鬼の小仲坊

第2号8頁写真12

（誤）仏性ヶ岳↓（正）仏生嶽

大変ご迷惑をおかけしました。訂正してお詫び
 申し上げます（編集担当）

新発見 飛鳥時代の巨大古墳

こやまだ
小山田古墳
明日香村川原

「小山田遺跡」の発見

平成27年1月、明日香村川原において新たな巨大古墳が発見されました。その後の継続調査で、内容が少しずつ明らかとなってきましたので、これまでの成果をご紹介します。

小山田古墳発見の契機は、昭和47年12月にさかのぼります。学校敷地の工事で、掘りだされた土に木簡らしい木片があるとの連絡が、学校から檀考研にありました。所員が現地で確認したところ、まさしく木簡でした。もとの地形にあてはめると、木簡は南にのびる尾根の東側の谷底から出土したものでした（第1次調査）。

学校の方の機転で発見されたこの遺跡は、「小山田遺跡」と命名されました。木簡の内容から、藤原京の時代の役所に関する遺跡と考えられました。

遺跡から小山田古墳へ

その後も、学校内の施設工事に伴い、いくどか発掘調査がおこなわれましたが、顕著な遺構は検出されてはいませ

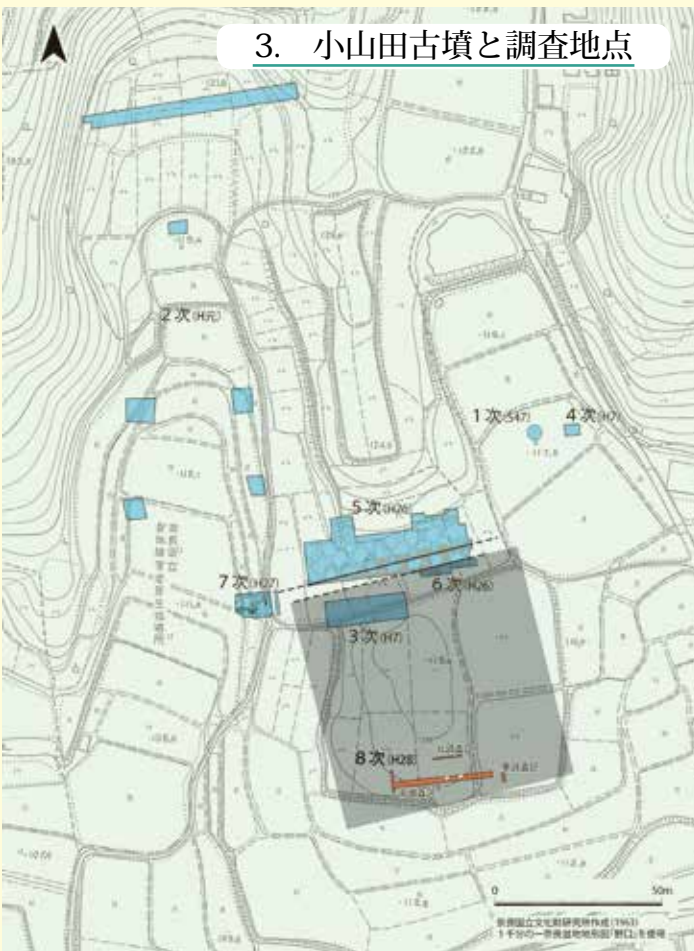


1. 小山田古墳の現状 南西から



地図 QR

3. 小山田古墳と調査地点



2. 奈良のなかの小山田古墳



古墳の推定範囲



4. 小山田古墳の北裾の石積みと北側の掘り割りの石貼り



5. 小山田古墳の北裾の石積みと北側の掘り割りの石貼り



羨道壁石の抜き取り穴

羨道床下の排水溝

羨道壁石の抜き取り穴

6. 小山田古墳の埋葬施設の痕跡 垂直写真 上が北



羨道壁石の抜き取り穴

羨道床下の排水溝

羨道壁石の抜き取り穴

7. 小山田古墳の埋葬施設の痕跡 南東から

んでした(第2～4次調査)。

転機は平成26年11月に訪れました。学校の校舎のひとつが、改築されることになり、発掘調査が実施されました(第5・6次調査)。

調査を開始してすぐに、人頭大の石が並んで出土しはじめました。調査を進めた結果、石積みを伴う大規模な掘り割りでした。掘り割りは東西に直線にのびており、約48m以上ありました。

掘り割りの北斜面には、飛鳥周辺にある石英閃緑岩をならべ、掘り割り側に平坦面を向けて貼っています。掘り割りの底には、斜面と同じ石英閃緑岩を敷いています。底の幅は、約3.9mで、南端の幅約80cmの範囲には、やや大きめの石を敷いています。

掘り割りの南側では、板石を階段状に積んでいました。板石の基底には、吉野川流域の結晶片岩(緑泥片岩)を用い、北面を揃えて2段に積んでいます。その上には、宇陀市室生周辺でとれる室生安山岩を重ね、北面を約10cmずつ南へずらしながら階段状にしています。

ヒントは過去の地形

出土した遺構の性格は何かを考える上で、学校建設以前の地形図が、大き

な手掛かりとなりました。遺跡は、南へのびる尾根上に位置しており、掘り割りは、尾根を切断してつくられていました。また、掘り割りの南側には、かつて四角い高まりがありました。出土遺構と過去の地形から、掘り割りは古墳の北辺を区画し、板石積みは古墳の表面を化粧する石材と考えることができます。飛鳥時代の大規模古墳が、新たに発見された瞬間です。

平成27年には、古墳の規模を明らかにする調査を、学校用地の西端でこない、古墳をつくるにあたって、丘陵地形を大規模造成した状況を確認しました(第7次調査)。しかし、依然として様々な課題が残りました。古墳がつくられた時期は?古墳の規模は?本当に古墳であると確定するための、決定打が必要でした。

古墳の埋葬施設を求めて

平成28年は、先の疑問点を解明するべく、小規模ではありましたが、推定される古墳の中心線上を発掘し、横穴式石室の痕跡をついに検出しました(第8次調査)。

南調査区において、南北長1.2m以上、東西幅1.4～1.5mを測る石材の抜き取り穴を2基、抜き取り穴の間の西寄り

に、内法約20cm・深さ約30cmの南北方向の石組暗渠を1基検出しました。遺構の形状とこれまでに出土した遺構との位置関係から、横穴式石室の羨道部分で間違いありません。同時に、小山田遺跡第5次調査以降に出土した遺構が、古墳のものであることが確定しました。

なお、石材の抜き取り穴は、羨道の東・西側壁の基底石が抜き取られたことを示しています。石室が既に破壊されていたことは残念であり、築造された時期を明らかにすることは、今回もできませんでした。

南・東調査区全域において、墳丘盛土を検出しました。このことは、今回の調査区よりもさらに南に、板石積みによる墳丘南辺が位置することを示します。また、墳丘盛土のなから、軒丸瓦の破片が1点出土しました。古墳の築造時期を考える上で、大変重要な資料です。

古墳の規模と築造時期

第8次調査によって、古墳の規模と築造時期を考えるための多くの手掛かりを得ることができました。

古墳の規模については、横穴式石室の位置が判明したこと、墳丘南辺がさ

らに南へ位置することなどから、一辺約70mの方墳となる可能性が高まりました。その規模は、同時期の古墳の規模と比べても、最大級となります。

築造時期は、墳丘盛土のなから出土した軒丸瓦片の年代から、7世紀前半以降であることがわかりました。また、掘り割りの大部分が、7世紀後半には埋没していることから、飛鳥時代のなかで、古墳の築造から埋没の過程をたどれることもわかりました。

このように、これほどの巨大な古墳の存在が、現在まで知られずにいたこととなります。小山田古墳については、まだまだ課題が残されています。その課題の1つ1つを明らかにすべく、今後とも継続して調査をおこなう予定です。

※見学上のご注意

小山田古墳は、学校敷地・民有地にあるため、通常は立ち入りが制限されています。古墳の南裾を走る県道155号多武峯久米線の歩道上から全体像を観察できますので、そちらからご覧ください。

アクセス

○近鉄吉野線 岡寺駅より東へ徒歩25分
○奈良交通 明日香周遊バス・赤かめ

橿原神宮前駅東口より
「野口」下車徒歩1分

国際会議

『シリア世界遺産の次世代への継承を目指して——パルミラ 奈良からのメッセージ』のご案内

シリアでは、2011年からの内戦により、世界遺産パルミラをはじめとする多くの文化遺産が破壊や盗難の被害にあいました。シリアはいま、文化遺産を保存・修復し、将来に継承するための国際協力が必要としています。

今年、樞考研は国連開発計画の委託を受けて、シリアの文化財関係者の人材育成事業を実施します。そのキックオフ・イベントとして、国際会議『シリア世界遺産の次世代への継承を目指して——パルミラ 奈良からのメッセージ』を以下のとおり開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

【主催】

シルクロードが結ぶ友情

プロジェクト実行委員会

奈良県立橿原考古学研究所

【後援】

国連開発計画・外務省・文化庁（申請中）

【日程】

平成29年7月11日（火）～13日（木）

【会場】

奈良春日野

国際フォーラム 能楽ホール

【参加方法】

7月11日のみ、往復はがき、またはインターネットによる申し込みが必要（定員300名・申込者多数の場合は抽選）。

※往信裏面…氏名、住所、電話番号

返信表面…住所、氏名（宛名）

※宛先 〒634-0065

奈良県橿原市畝傍町1番地

樞考研 シリア国際会議係

※6月23日（金）必着

※インターネット申し込み情報

樞考研ホームページ（<http://www.kashikoken.jp/>）に詳細掲載。

プログラム

▼11日（火）14時～17時

◇オープンシンポジウム

『シリア文化遺産の保護と日本の役割』

※開会挨拶 奈良県知事 荒井正吾

※記念鼎談

マアムーン・アブドウルカリーム（シリア古物博物館総局長）、青柳正規（東京大学名誉教授・前文化庁長官）、ヤマザキマリ（マンガ家）

司会 黒木英充（東京外国語大学教授）

▼12日（水）9時30分～17時

◇専門家パネル

『パルミラ遺跡の現在から将来へ』

◇発表者

フリード・アスアド（フランス／パルミラ古物博物館）、オマル・アスアド（フランス／パルミラ古物博物館）、ミハウ・ガウリコウスキ（ポーランド／ワルシャワ大学）、アンドレアス・シュミット・コリネ（ドイツ／ウィーン大学）、西藤清秀（樞考研） 他

▼13日（木）10時～17時10分

◇シンポジウム

『シリア文化遺産の次世代への継承』

コーディネーター…常木晃（筑波大学）、サミュエル・リズク（UNDPシリア）

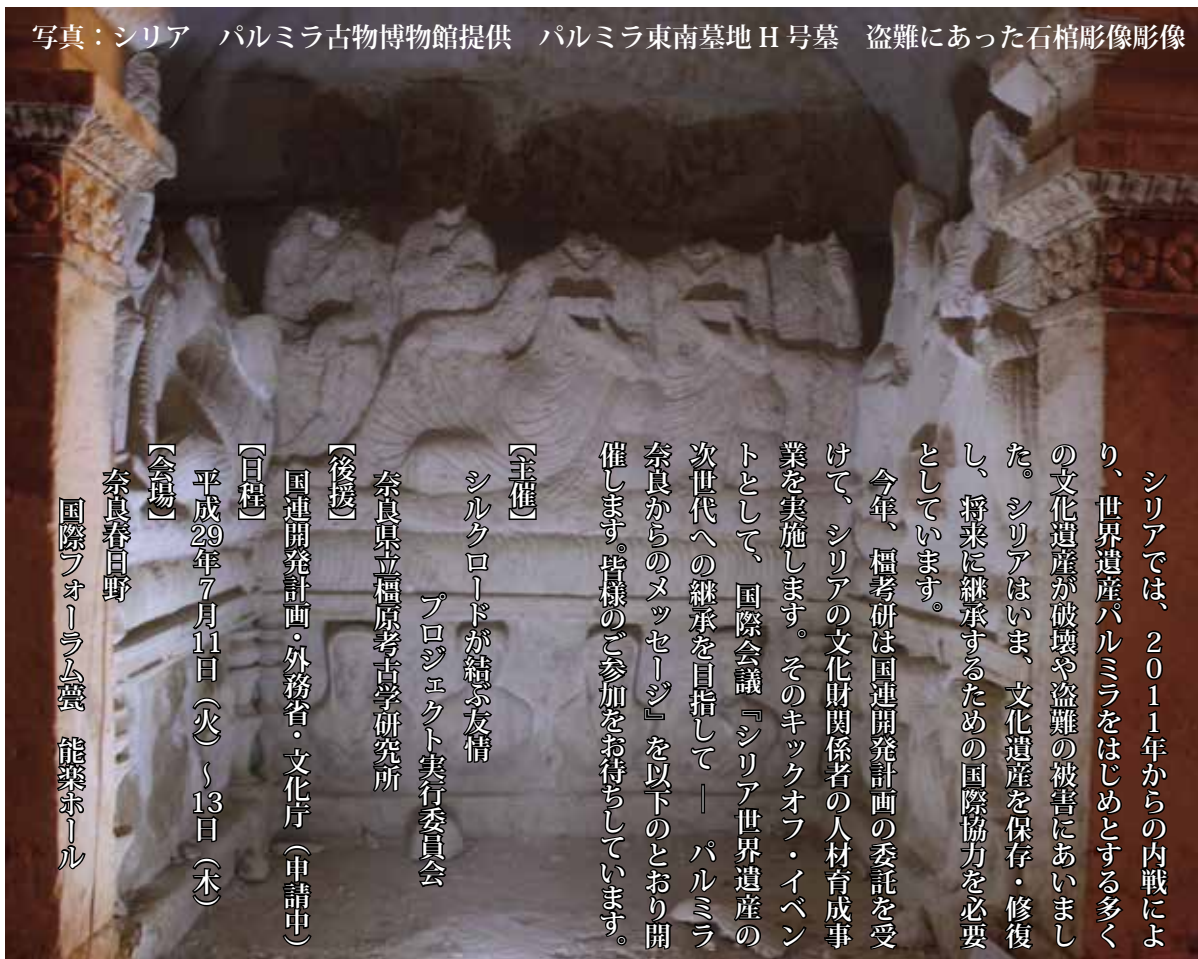
◇発表者

マアムーン・アブドウルカリーム（シリア／古物博物館総局長）、アフマド・ディーブ（シリア／古物博物館総局長）、松原康介（筑波大学）、黒木英充（東京外国語大学）、マフムード・ハムード（シリア／ダマスカス市古物博物館局）、松本太（外務省駐シリア臨時代理大使） 他

※国際情勢の変化等により、出席者が変更になる可能性があります。

※各日、同時通訳あり。11日～13日の期間、能楽ホール前ロビーにて関連団体による写真、物品の展示等あり。

写真：シリア パルミラ古物博物館提供 パルミラ東南墓地 H 号墓 盗難にあった石棺彫像彫像



創立62年の友の会

昭和30年から友史会は活動してきました。大和歴史館の友の会として発足し、歴史館が考古博物館と改名し、そして橿考研附属博物館になった翌年、橿考研友史会となりました。橿考研とともに活動をおこない、一昨年60周年をむかえました。現在、会員は北海道から鹿児島まで広がり、その数約1400名。会員が集中する東京・名古屋には支部をおいています。

楽しい友史会の例会

友史会活動で最も楽しいのは、年に7回開催される遺跡めぐりの会(例会)です。奈良を中心とする近畿地方の遺跡から、折々の考古学ニュースや研究の進展を踏まえたコースを設定し、橿考研の所員が解説員となって一日をかけてめぐります。62年の会の歴史の中では、同じ遺跡を再訪することがありますが、考古学研究の進展をふまえて、解説は常に最新のものです。

※平成28年度の例会実績

4月 銅鐸出土地を巡るV

6月 三島古墳群を歩く

写真：友史会例会風景（橿考研所員による遺跡説明）



◆橿考研には友の会「友史会」があります。

◆「友史会」は、研究所・友の会活動をととして考古学に基づいて歴史を学ぶことを目的とする、会費制会員による会員のための組織です。

◆会員になるために特別な資格は必要ありません。

◆会員になると、所員案内の遺跡めぐりや講演会、会報の送付、附属博物館入館等の特典がたくさん！会員、随時募集中です。

7月 泉州の古墳を巡る
9月 新庄・當麻の古墳を歩く
11月 横大路をあるく
12月 建国の聖地・橿原を歩く
2月 巨勢・葛城の境を歩く
例会以外に、希望者による国内遺跡の旅も実施しています。平成28年度は『北信濃の遺跡を巡る』でした。

友史会の運営

友史会は、会員が会長をはじめとする委員となって運営しています。橿考研は所長以下が顧問を務めることで、会員の皆様の考古学等のニーズにお応えする体制をとっています。

皆様も友史会員になって、橿考研と一緒に考古学を学び、楽しみませんか。

入会のご案内

※詳細は、友史会ホームページ(<http://www.kashikoken-yushikai.org>)参照のこと

※年会費

(4月から翌年3月の1年)

一般4千円 学生2千円

10月以降入会の場合、一般2千円

※振込み先

郵便振替口座

00940-8-764110

奈良県立橿原考古学研究所 友史会

三枚の鏡がキトラ古墳と現代をつなぐ

◆新たな考古学ミステリー

平成29年3月、考古学ミステリー界に新たな1冊の本が刊行されました。池澤夏樹著『キトラ・ボックス』（KADOKAWA）です。池澤夏樹さんは、第98回芥川賞受賞作の『ステイル・ライフ』など数々の著作があり、本作は平成26年2月刊行の『アトミック・ボックス』の姉妹編に当たります。

あらすじは、国立民族学博物館研究員の可敦が、奈良県天川村、愛媛県大山祇神社、そして中国新疆ウイグル自治区にある3枚の禽獣葡萄鏡をめぐって、大きな思惑に巻き込まれながら、前作『アトミック・ボックス』の登場人物たちの力を借り、最終的にキトラ古墳の被葬者を明らかにするというものです。冒険小説と古代史ミステリーの要素がミックスされた内容であり、物語の展開が非常にスピーディーで、楽しめるものになっています。

◆物語中の檀考研

本作には、檀考研がかかわっています。冒頭、可敦が讃岐大学准教授の藤波三次郎に誘われ、日月神社所蔵の禽獣葡萄鏡の調査のため、檀考研へ赴き



上：近鉄檀原線 畝傍御陵前駅西口
檀考研まで徒歩5分の最寄り駅です。
下：愛媛県大島大山祇神社（2017/04/02撮影）
この記事のために撮影してきました。

ます。畝傍御陵前駅の前で藤波と待ち合わせ、5分ほどで檀考研へ到着します。そして研究所の「2階の小さな部屋」へ案内され、資料の見学をおこないます。

実際の檀考研が資料見学用に使っている部屋は、2階にはありません。2階は、多くの研究員の研究スペースがあり、私の席も配置されている場所です。物語が現実であれば、資料見学へ来た2人と私は、出会っていたのかもしれません。

物語の後半にも、檀考研が登場します。内容に大きく関わる部分ですので詳しくは言えませんが、そこには研究員が2人登場します（もちろん架空

の人物ですが）。檀考研研究員は、講演会などで広く活動していますので、知っている名前や顔を思い浮かべて、比較していただければ、楽しめるポイントになると思います。

物語の途中、可敦は岡山にある鍛冶屋造遺跡の発掘調査現場にかくまわれます。この遺跡は、美作市中尾・上相に位置する遺跡です。本作の連載当時、岡山県教育委員会が調査しており、報告書も刊行されています（岡山県教育委員会2016『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』242）。私は美作出身で、鍛冶屋造B1号墳でも出土している陶棺を研究していますので、より物語が身近に感じられました。

◆キトラ古墳の被葬者像

キトラ古墳の被葬者には、高市皇子や刑部皇子のような皇族、阿倍御主人のような有力豪族など、多くの見解があり、一致をみていません。本作では、最終的にとある人物が禽獣葡萄鏡と銅剣を手掛かりに被葬者として挙げられます。読者ごとに、賛否両論が予想されます。考古学の視点からは、何を明らかにすればキトラ古墳の被葬者がわかるのか、本作を読むことで考えるきっかけになるのではないかと思います。

4月29日には、国立民族学博物館（大阪府吹田市）で、池澤夏樹さんと、国立民族学博物館吉本忍名誉教授、そして檀考研の菅谷文則所長による刊行記念トークイベント（小説家の見た「キトラ古墳」と「国立民族学博物館」―小説『キトラ・ボックス』をめぐって）が開催されました。参加者からの質問コーナーもあり、会場内は熱気に包まれていました。（絹嶋）



池澤夏樹著『キトラ・ボックス』
（株式会社KADOKAWAより刊行）

左：海獣葡萄鏡（橿考研附属博物館寄託品）

下：トルファン葡萄棚通り（筆者撮影）



◆ 禽獣葡萄鏡

本作のキーアイテムとして登場する大山祇神社、トルファンの古墳、そして天川村日月神社（実在しません）に伝えられた同型（同じ鑄型なので、専門的には同範）の「禽獣葡萄鏡」。お読みになった方は（まだという方も）どのような鏡を思い浮かべたでしょうか？以下、蛇足とは思いつつも「禽獣葡萄鏡」について、すこし詳しくみていきたいと思います。

◆ 鏡の故郷と時代背景

「禽獣葡萄鏡」ですが、日本ではむしろ「海獣葡萄鏡」の名で知られています。また、中国では「瑞獣葡萄鏡」とも呼ばれており、鏡背（鏡面の裏側）に、獅子・天馬や鳳凰など禽獣や、チョウチョやトンボ、そして絡み合った葡萄房と蔓、唐草など動植物の文様を配した大変優美な造形の鏡です。

「禽獣葡萄鏡」を肴に小説を楽しむ

半ば過ぎから流行します。この時期は、中国史上随一の善政として著名な「貞観の治」で知られる太宗が崩御し、後に武周をたてる則天武后が権力を握り始めた頃にあたります。太宗の晩年にあたる640年、唐はトルファンに栄えていた麹氏高昌国を攻め滅ぼし、安西都護府を設置して西域経営の拠点としました。トルファンの名産品として古くから葡萄が有名ですが、鏡に葡萄文が採用されたのはこのような状況も影響したのかもしれない。当時としては異国情緒あふれる最新デザインで、唐代を通して愛好された鏡です。

◆ 海を渡った鏡

海獣葡萄鏡は、考古・歴史ファンにとっては、三角縁神獣鏡とならんで知られている鏡です。壁画で有名な明日香村高松塚古墳でも出土しています。その他、法隆寺五重塔心礎出土のものなどがあり、奈良時代の遺跡を中心に出土します。また、正倉院宝物と千葉県香取神宮の神宝にも含まれており、この2面は同型鏡とされています。遣唐使などがもち帰った優品がある一方で、鑄型の一部が明日香村飛鳥池遺跡から出土していることから、国内でも複製品が製作され、貴族達の手元で愛でられたようです。

◆ 虚実のさかい

大山祇神社には、斉明天皇が奉納したと伝わる「禽獣葡萄鏡」が実在します。一方で、天川村とトルファンの鏡はフィクションです。

しかし、トルファンは前述したように唐の直轄支配地となったので、その時期の墳墓から出土しても不思議ではありません。例えば、タクラマカン砂漠南縁の新疆ウイグル自治区ホータン（可敦の出身地です）のニヤ遺跡からは、漢代の中国鏡が出土しています。

海獣葡萄鏡も、遠く中央アジア地域でも出土しており、シルクロード交易により、多くの文物が広範囲に移動していました。また、天川村の鏡は、作中で某古墳出土とされていますが、高松塚古墳出土鏡の存在を考えれば、これも「ありえそう」です。

このように、本作中には「ありえそう」なフィクションが巧みに織り込まれており、リアリティを醸し出しています。どこまでが事実で、どこからがフィクションか、それを探求するのも、考古学ミステリーの楽しみ方のひとつかもしれません。

◆ 禽獣葡萄鏡を鑑賞する

大山祇神社鏡は神社の宝物館に、高松塚古墳出土鏡は、奈良文化財研究所飛鳥資料館に展示されています。また、橿考研附属博物館には、高松塚と同型の鏡が展示されているので、是非ご覧ください。本物に触れ、具体像を知ること、『キトラ・ボックス』をより味わい深く読めること請け合いです。（持田）

執筆者紹介

絹島 歩

調査課 / 主任技師

○古墳時代を専門とする。陶棺好き。

持田 大輔

企画課 / 主任研究員

○東アジアの金属器研究。隋唐鏡好き。

考古学研究交流

— 探訪 アジアの注目遺跡 —

◇中国古代の王朝 周

古代中国には、夏・商・周という三代の王朝があったといわれています。夏の解明は現在進行形ですが、河南省偃師市二里头遺跡がその中心地と考えられています。商は、河南省の中東部を中心に栄えた王朝で、商後期の中心地である安陽市の殷墟遺跡では巨大な墳墓が多数見つかっています。そして、商の最後の王である紂王（帝辛）を紀元前11世紀に武王が滅ぼし（克殷）、周王朝が立ちました。文献によると、周王朝の都はいくつかの地を

変遷しています。その中で、商を滅ぼした武王の祖父にあたる古公亶父が一族を率いて豳から岐山のふもとへ移り、「周」と号したとされるのが、次に紹介する周原遺跡のある地域です。

◇周原遺跡の調査・公開

周原遺跡は、陝西省の省都西安から西へ約120 km、宝鸡市岐山県と扶風県にまたがる、総面積約30² kmに及ぶ遺跡です。考古学調査の歴史は70年以上に及びます。これまでに版築基壇をもつ大型建物跡（鳳雛建築基址南北約43 m・東西約33 m、召陳建築基址南北約15 m・東西約24 mなど）や、103件もの青銅器が埋納された庄白1号青銅窖藏、さらには青銅器鑄造工房や石器製作工房の跡などが検出されています。

◇中国歴代王朝と関中

周原遺跡のある宝鸡市から東の西安市を含めた一帯は、関中平原と呼ばれます。関中は周以降、秦・漢・隋・唐

と歴代王朝の中心地だったため、いたるところに見どころがあります。周に関連したものをあげれば、周原遺跡の近くには、周公旦（周武王の弟）を祀る周公廟があり、儒教の聖地として人気を集めています。また宝鸡市の中心市街にある青銅器博物館は必見です。宝鸡市内で出土した青銅器や土器が多数展示されており、非常に見応えがあります。さらに、この博物館を建設する際に見つかった石鼓山商周墓地は、いま国内外の研究者達に非常に注目されています。

さいとう のぞみ
齊藤 希

調査課 / 技師

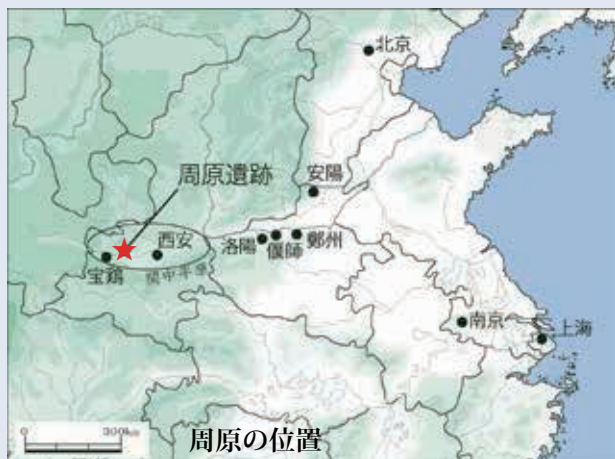
プロフィール

- 茨城県出身。
- 九州大学大学院人文科学府博士課程
- 2013年9月～15年7月まで、北京大学考古文博学院に留学。
- 専門は中国初期王朝成立期の考古学。
- 最近では日本の瓦、土師器などを日々勉強中

中国

しゅうげん

周原遺跡

ほうけい
陝西省宝鸡市

周原の位置

私は北京大学留学中に、2014年9月からこの周原遺跡で4ヶ月半の発掘調査に参加する機会をいただきました。この年の発掘調査区は、1976年に発掘された鳳雛建築基址の南側です。調査の結果、宗廟（先祖を祭る建物）と考えられる回字形の大型建築基壇や、青銅器21件を副葬した貴族墓、また精巧な文様の施された車馬具をも



2014年発掘調査団集合写真

(大型建築基壇の南から。白い塀の奥が鳳雛版築基壇)

周王朝は、日本を含めた東アジアの国家制度の歴史を考える上で、欠くことのできない存在です。まずは一度、西安から西へ足を延ばして岐山のふもとをお尋ねいただき、悠久の時に思いを馳せていただければと思います。

◇遠くて近いベトナム

東南アジアの南シナ海に面したベトナム社会主義共和国。近年、日本との経済交流が盛んになりましたが、その歴史文化に関しては、残念ながらまだまだよく知られてはいません。そこで、フォーとアオザイだけではない、ベトナムの奥深い歴史文化の一端を、注目遺跡を介してご紹介しましょう。

◇チャンパ王国

南北に細長いベトナムは、山海の産物が豊富なことから、多くの人々を惹き、北からは中国文化が、南からはインド文化が波及しました。

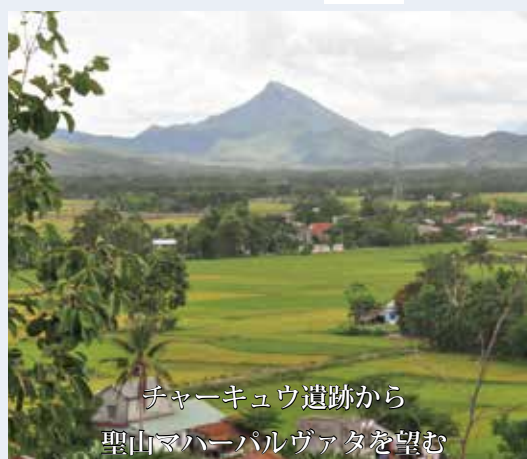
中国の記録に邪馬台国が登場する頃、中国支配下の日南郡（ベトナム中部）では豪族が独立し、林邑（チャンパ王国）を建国しました。チャンパ王国は、はじめ中国と交流が盛んでしたが、次第にヒンドゥーの影響下に入りました。国内では王朝が交代しながらも、対外的には北の大越や西のアンコール王朝等と争い、15世紀までベトナム中部一帯を支配しました。

チャンパ王国の文化は日本にも伝えられました。奈良時代には、林邑出身の僧侶が、東大寺大仏の開眼法要で

ベトナム

チャーキュウ遺跡

クアンナム省ズイスエン県



チャーキュウ遺跡から
聖山マハーパルヴァタを望む

林邑を奉納しています。

◇王国の都

チャンパ王国の初期の都城は、チャーキュウ遺跡だと考えられています。遺跡は東西約1500m、南北約550mの長方形の城壁で囲まれています。北壁の中央辺りに、ブウチャウという小高い丘があり、現在は教会となつています。丘の上に建つ礼拝堂へと通じる階段を上りきると、遺跡の全体を見渡すことができます。東と南には草木の茂る城壁が田園の中を走り、南西にはチャンパ王国の聖山、マハーパルヴァタを望みます。

遺跡ではクンディ（水差し）など、



ミーソン聖域の一部

インドに起源をもつ土器も出土しますが、印紋陶や人面がデザインされた瓦に加え、レンガと粘土を使った壁の構造などに、中国やその支配下にあったベトナム北部との繋がりを示すものが目立ちます。チャンパ王国はヒンドゥー教国家と思われていますが、当初は中国の影響が色濃かったのです。

◇王国の聖地

チャーキュウ遺跡から南西に14km、木々に隠された山中にミーソン聖域があります。緻密な文様で飾られ、苔むしたレンガ祠堂が立ち並ぶ姿は、聖域にふさわしい雰囲気です。王国は遷都を繰り返しましたが、ミーソン聖域は紀元後4世紀から900年ほど、変わらずに聖域であったと考えられます。残念ながら、戦火で遺跡の一部が破壊されましたが、現在は遺跡の崩壊を防ぐための国際協力による修復が行わ

れ、美しい姿が保たれています。

◇古代から中世までの旅路

ベトナム中部の玄関、ダナン国際空港からチャーキュウ教会まで、車で1時間。礼拝堂を目指し丘を登るとチャーキュウ遺跡の城壁と聖山マハーパルヴァタを一望できます。教会から西へ車で1分の所にあるズイスエン県サーフィン・チャンパ博物館では、チャーキュウ遺跡の出土品に出会えます。さらに博物館から30分でミーソン聖域に到着。

遺跡を見学後は来た道を戻り、ホイアン市へ。中世の港町の雰囲気が残る旧市街は、夜の風景が美しいことで知られています。きつとゆつたりとした時間をお過ごしいただけるでしょう。ベトナムの古代から中世への旅を、ぜひご体験ください。

すずき ともみ
鈴木 朋美

調査課 / 技師

プロフィール

- 愛知県出身。
- 早稲田大学文学研究科博士課程満期退学。
- 研究資料収集のため、ハノイ国家大学に2013～2015年の2年間留学。
- 研究テーマは、ベトナムの甕棺墓の起源から終焉について。

催し案内

平成30年、榑考研は創立80周年を迎えます

●榑考研創立80周年イベント 附属博物館秋季特別展

「黒塚古墳のすべて」

- ◇期間 平成29年10月7日(土)～11月26日(日)
- ◇内容 三角縁神獣鏡33面の出土をはじめとする天理市黒塚古墳の調査成果は、古墳研究に様々な問題を提起しました。発掘調査から20年となる本年、進展した研究成果に基づき、その全貌を紹介します。ご期待ください。

●榑考研 附属博物館

「2016年度 発掘調査速報展」 「大和を掘る35」

- ◇協力 奈良県内市町村教育委員会・奈良文化財研究所・東大寺
- ◇期間 平成29年7月15日(土)～9月3日(日)
- ◇内容 三宅町瓢箪山古墳の埴輪等、奈良県内の平成28年度の発掘成果が、一堂に結集。
- 4回開催の土曜講座では、主要な発掘を担当者が解説します。乞うご期待。
- ◇詳細 榑考研ホームページ <http://www.kashikoken.jp/museum/> をご覧ください。

●榑考研 「市民発掘隊」第2次隊員募集

- ◇目的 隊員になって、榑考研の発掘に参加し、考古学を体験してみませんか。条件は18歳以上(高校生等の昼間就学が優先される方は不可)で、屋外作業が可能な健康な方15名(多数の場合は抽選)
- ◇募集 詳細は榑考研ホームページ <http://www.kashikoken.jp/> で申し込み方法 往復はがき 氏名・連絡先・年齢記載 申し込み期限 平成29年6月23日(金) 消印有効 申し込み先 奈良県榑原市畝傍1番地 榑原考古学研究所「市民発掘隊」係宛

◇養成講座(全日程履修必須)

期間 平成29年7月24日(月)～28日(金)

●室生埋蔵文化財整理収蔵センター 宇陀文化財講座第7回

「宇陀の考古と寺社・仏教彫刻(1)」

- ◇期日 平成29年7月8日(土) 13時～15時30分
- ◇場所 榑考研 室生埋蔵文化財整理収蔵センター 講座室
- ◇交通 近鉄大阪線 室生口大野駅 南東徒歩15分(駐車場有)
- ◇講師 高橋 京子氏(大阪大学総合芸術博物館 准教授)
- 演題 「地域文化力と薬草栽培の叡智」 森野旧薬園から発信する生薬国産化
- 福田さよ子氏(榑考研 共同研究員)
- 演題 「古墳時代の木器生産と宇陀市谷遺跡」



『榑考研通信』 Vol.3

平成29年6月9日

編集・発行：奈良県立榑原考古学研究所
奈良県榑原市畝傍町一番地
<http://www.kashikoken.jp>

印刷：株式会社 明新社



研究所 QR



博物館 QR



読者の皆様へ：本紙では地図 QR コードを掲載しています。個人の責任で、スマートフォン等の地図アプリケーションをご利用ください。